

## 九州地区の8年2月住宅着工戸数

前年同月比28.7%減の5,149戸、佐賀県は36.3%増

国土交通省がまとめた令和8年2月の住宅着工統計によると、九州地区の住宅着工戸数は前年同月比28.7%減の5,149戸で、床面積は同26%減となっている。県別の住宅着工戸数は前年同月比で福岡県が30.8%減、佐賀県が36.3%増、長崎県が41.6%減、熊本県が40.2%減、大分県が12.8%減、宮崎県が36.5%減、鹿児島県が33.2%減となっている。

## 新設住宅着工戸数(令和8年2月、令和7年2月)

都道府県	戸数・件数(戸・件)			床面積の合計(m <sup>2</sup> )		
	令和8年2月	令和7年2月	前年対比(%)	令和8年2月	令和7年2月	前年対比(%)
福岡	2,478	3,579	69.2	187,025	258,659	72.3
佐賀	582	427	136.3	42,892	36,496	117.5
長崎	276	473	58.4	23,547	33,314	70.7
熊本	618	1,033	59.8	49,649	80,817	61.4
大分	319	366	87.2	27,558	33,754	81.6
宮崎	370	583	63.5	31,436	42,319	74.3
鹿児島	506	758	66.8	42,958	61,870	69.4
九州地区計	5,149	7,219	71.3	405,065	547,229	74.0
沖縄	915	605	151.2	67,629	48,352	139.9
山口	399	427	93.4	31,342	37,365	83.9
全国計	57,630	60,583	95.1	4,420,772	4,717,877	93.7